

平成 27 年度「経済の好循環と日本経済再生に向けた国際共同研究」
(生産性分野) 報告会の概要
(平成 28 年 2 月開催)

開会挨拶 深尾京司 一橋大学教授

セッション 1 「Welfare Assessment of New Retail Formats and Entry Regulation: Evidence from Japan's Retail Industry」

発表者：松浦寿幸 慶應義塾大学准教授

討論者：Colin Hottman FRB エコノミスト

セッション 2 「Contribution of Quality and Product Variety to Retail Firm Growth in Japan」

発表者：佐藤正弘 内閣府経済社会総合研究所特別研究員

討論者：川口康平 一橋大学講師

セッション 3 「Measurement of Deflator and Added Value in Service Sector」

発表者：深尾京司 一橋大学教授

討論者：Jiemin Guo BEA エコノミスト

セッション 4 「Overview on the Disease-based Approach in the U.S. National Health Care Accounts」

発表者：Allison B. Rosen University of Massachusetts Medical School 准教授

討論者：Paul Schreyer OECD 副統計局長

セッション 5 「Efficiency in Research and Development of Medical Research」

発表者：杉原 茂 内閣府経済社会総合研究所次長

討論者：鈴木 潤 政策研究大学院大学教授

セッション 6 「Measurement Challenges with Service Sector Productivity」

講演者：Paul Schreyer OECD 副統計局長

閉会挨拶 杉原 茂 内閣府経済社会総合研究所次長

※ここに記載している発表者らの肩書きは、報告会開催当時のものである。

経済社会総合研究所の概要

経済社会総合研究所（Economic and Social Research Institute：以下 ESRI という）は、中央省庁再編の一環として従来の経済企画庁経済研究所の機能、規模を拡充して 2001 年 1 月に発足した内閣府の機関です。内閣府は重要課題を担当する「知恵の場」ですが、ESRI は内閣府のシンクタンクとして理論と政策の橋渡しを担う、言わば「知恵の場」の中の「知恵の場」といえます。

ESRI の主要な任務として、経済活動、経済政策、社会活動等に関わる理論及び実証研究を行い、政策研究機関としての機能強化を図るとともに、内部部局と連携し、経済財政諮問会議の審議に資する研究の実施と政策研究を担う人材育成・研修等に取り組んでいます。また同時に、GDP（国内総生産）統計に代表される一国経済の循環を記録する国民経済計算体系（SNA：System of National Accounts）の推計作業を行い、四半期毎の GDP 速報（QE：Quarterly Estimates）、年度毎の確報を公表、さらには、CI（景気動向指数）等の景気動向統計の作成を行い、公表しています。